

白川学館会員の皆様

平素より白川学館の活動にご賛同いただき、誠にありがとうございます。

白川学館では年間で二十数回の祭祀を執り行わせていただいておりますが、それは歳時記に則った神祇祭祀、節供祭祀と、社会情勢や時流に即し対応した臨時祭祀とに分けることができます。

宮中祭祀を司ってきた白川の祭祀は公の祭祀そのものであり、中でも前述後者の臨時祭祀は高等国策として、「予祝」としての意味合いよりも「未然法の祓い」としての意味合いが色濃く、国の行く末を左右する時代の転換点で、即時性を持って執り行われてまいりました。

ここで、本日お伝えしたいことの本題に入る前に、まず臨時祭祀に関して七澤賢治先生が語られた御講話を再掲いたします。

◇臨時祭が強いエネルギーなる

今後、我々は高濱浩先生がずっとお伝えして下さった中身でもある「臨時祭」を行っていきたいと思います。事あるごとに、非常に大きな自然災害（特に地震）を防ぐために、少しでも柔らかく、大きな災害にならないように、という想いで祈るといえるか、あるいは、決意というようなものを持っていくことが大事だと思います。

地球の中で一番大事な水というものを通して、少しでも人類のために、日本のために役に立てることができればと思い、我々はこれから水の事業をやっていきます。水ということも含めた「臨時祭」といえるかですね。それは、高濱浩先生がいわれていたことの中身でした。臨時のお祭りをすることによって、一つの祈り、あるいは祭祀が非常に効果的になるということでありましてね……。臨時祭、それが強いエネルギーになるということですね。結局、人間の不安というものが一緒になって、より強い自然災害が起こってしまうわけですね。臨時祭というものは、人間の不安を含めたものを堂々と少なくするという意味合いを持った、人間としての願いなんですね。それをこれからも度々やっていきます。そのことが非常に大きなエネルギーになる。自然災害や世界の混乱などに日本が巻き込まれないで、少しでも人類のためになるような生き方に繋がればと思っております。そのようなところに想いを馳せ、平らけく、安らけく、清らけく、明らけくという想い、誠の想いを持って生きるということですね。そのような想いにより、人間が少しでも安心して、安泰になるということが可能になる道であると私は思っております。そういう想いで少しでも活かしていただくということが、祈りを持って生きるということの我々の役割であると思います。そういう意味での、祓いや臨時祭を更に続けてやっていきたいと思っております。

ここ最近では、流行の疫病鎮静化への対応に代表される、臨時祭を幾度となく執り行ってきた白川学館ですが、今年 5 月に入ってから何度重なる比較的大きな地震の活動に対して

は、今こそ国民の不安を払拭し、国土の安定を祈る、祓いと鎮魂を成すべき時期と判断しまして、大変急なお話ではありますが、来週5月31日（水）に白川学館臨時祭を敢行することにいたしました。

以下、祭祀概要となりますが、白川学館の会員皆様におかれましては、是非とも御志を一つにし、電子祝殿を通して祭祀にご参加賜りたく、宜しく願い申し上げます。

祭祀概要

祭祀名：「令和五年大八洲国地鎮臨時祭」

日時：令和5年5月31日（水）11:00 開式

場所：祝殿（祭員およびスタッフのみ）

電子祝殿（白川学館会員の皆様）

和学教授所にログイン後、ご参加ください。（当日は9:00から朝拝もございます）

<https://wagaku.shirakawagakkan.jp/denshi-hafuriden/>

備考：申込、御幣帛ともに不要

専用の配信ページおよび後日視聴の設定はございません。

式次第中、「祝詞奏上」の後に「六種鎮魂の儀」があります。六種修習をされている会員の皆様は、画面を通し御神前に向かって、国土安定祈願のための六種鎮魂作法をご一緒に行ってください。

なお継続した活動として、翌月の6月30日に明治記念館にて執り行われる「令和五年夏越の大祓〜うつしよのたましずめ ことむけやわすおおはらひ〜」におきましても、我が国を発端とした地鎮（とこしずめ）の目的も含めた祭祀が執り行われます。

ご参加希望の方は特設サイトよりお申込みください。

<https://s.neten.jp/utsushiyokotomuke>

沢山の皆様のご参加を心よりお待ちいたしております。

ご不明な点やご質問等がございましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

白川学館事務局
